

緊急決定！

トロントからサーロー節子本人が緊急舞台挨拶参加！
『ヒロシマへの誓い サーロー節子とともに』
核廃絶を訴え続けノーベル平和賞を授与された日本人女性が
4月17日(土)映画初日に最新のナマの声を日本の観客に届ける！
5劇場、3か国をつないでプロデューサー、監督も同時参加

核禁止条約締結を先導した日本人被爆女性の平和活動を追うドキュメンタリー映画の日本公開初日に、サーロー節子、プロデューサー竹内道、スーザン・ストリックラー監督3人が4月17日(土)初日舞台挨拶参加が決定した。

東京：ユーススペース、横浜：横浜シネマリン、名古屋：名古屋シネマテーク、大阪：第七藝術劇場、広島：八丁座、5劇場をつなぐ。

オリジナル本編は2019年に完成し、2020年クリーブランド国際映画祭でワールドプレミアされたが、コロナ禍で本国アメリカでの劇場公開は見送られた。その後、2021年1月22日核禁止条約が発効され、ICANにとって大きな前進となった。

そしてこの核禁条約が発効されたその日の映像をスーザン・ストリックラー監督が撮影、4月17日(土)の日本公開に向けて、急遽1分45秒の映像を追加編集した。

4月17日(土)日本公開初日は、世界初公開となるこの映像を含めての劇場公開となる。核廃絶というゴールへ向けて世界はいままさに「終わりの始まり」というスタートラインに立った！というリアルタイム感が凝縮された映像を加えた映画を鑑賞するとともに、観客は今回の舞台挨拶で、サーロー節子と同じ時間を共有しその声を聴くことになる。

サーロー節子は在住のカナダ トロントから、竹内道は本作の全国公開を前にニューヨークから来日後、実家で自主隔離中の福岡から、スーザン・ストリックラーは在住のアメリカ コネチカットから Zoom 参加となる。舞台挨拶は初日17日の10:30初回上映前、10:00からスタートする。(イベントは急遽変更になる可能性もあります)

被爆者と被爆二世、二人の女性の人生を重ね合わせる重層構成が訴えかけるもの

サーロー節子は広島女学院生徒だった13歳で被爆し、300数名ものの学友を瞬時に亡くした。後にカナダ人と結婚、トロントに移住し国連や国政会議で被爆者としての体験を世界中の人々に語り伝え続け、条約の推進に貢献してきた。

映画は節子の力強い生きざまを追うとともに、本作のプロデューサーである被爆二世でニューヨーク在住の竹内道が、節子と出会い自身の真実を見つける旅が並行して描かれる。偶然にも広島女学院の卒業生であった二人の距離が縮まり、節子に励まされて、道は自分の家族の被爆の歴史に目を向け始め、広島赤十字病院初代院長時に被爆した祖父や入市被爆した母の語らなかつた体験を少しずつ発見していく。被爆二世としての自身を見つめなおしていく道の姿を節子の活動と並行して描いていく構成により、原爆も核廃絶問題も、世代を超え年代を超え国籍を超え、我々が過去もこれからもかわっていくべきだと観るものに訴えかけてくる。

クライマックスはノーベル平和賞授賞式での力強いスピーチ

撮影は、原爆投下から70年経った2015年、ニューヨーク国連本部におけるNPT(核不拡散条約)会議の会場から開始された。その後、広島、トロント、オスロと、節子の活動の場を追ってカメラは世界を駆け巡る。そして、2017年12月、遂にICANがノーベル平和賞を受賞。凍るように寒いオスロでの授賞式には、ICANの一人として、そして何十万の被爆者の声を代表して受賞スピーチを行い一語一語力強く訴えかける節子の姿があった。竹内 道と共同プロデューサーも出かける監督ストリッカーは、アメリカのネットワーク・テレビにて、ドラマのプロデューサー、そして、監督を長年つとめアメリカ監督賞(DGA) また、デイトタイム・エミー賞を受賞している。

「命を守る」その切実な願いを日々の暮らしで実感している今だからこそ

映画内で節子が語る被爆体験は、リアルで凄惨を極める。日本人の我々でさえ改めて原爆の恐ろしさ、非人道性に恐怖と怒りを新たにすが、核兵器を政治的均衡、国際間パワーゲームの道具として認識している多くの欧米人の心を動かしたのは、こうした節子の悲しくも生々しい言葉だったのだ。

なぜ、被爆者サーロー節子(旧姓中村)と被爆2世竹内 道とともに

広島からそれぞれトロント、ニューヨークへ行かなければならなかったか?

唯一の被爆国である日本に生まれた日本人として、我々は何を知り、何を知らないのか?

そして何をなすべきか?

あらためて突きつけられるさまざまな問い。

まさに「今こそ観なければならない」ドキュメンタリー映画であるといえるだろう。

『ヒロシマへの誓い サーロー節子とともに』は

4月17日(土)より東京ユーロスペース他、

横浜、川崎、大阪、京都、神戸、名古屋、広島、福岡、札幌など全国主要都市で公開が決定している。

■ 2019年アメリカ映画/原題: The Vow from Hiroshima./82分/配給: 3DAP Japan

◆ 公式サイト <https://www.hiroshimaenochikai.com/>

<宣伝問い合わせ> pub@hiroshimaenochikai.com

4月17日(土)

ユーロスペースにてロードショー 順次全国公開